

ハーモニー

『ハーモニー＝2音以上の音を同時に出した時に生じる融合音』どちらが強くても、弱くても、美しい音はかもし出せない。性別に関わりなく全ての人がお互いの存在を尊重し、ともに作り出す社会の仕組みは全ての人にとっても心地よいはず。この情報誌には、そんな思いがこめられています。

性別や年代に関係なく
みんなやさしくて思いやりがある北谷町
そんな北谷町を誇りに思います

チアキ(しゃかり) 本名:上地千秋
北谷町 謝苅出身

12歳の時に沖縄のカラオケ番組で優勝。
その頃音楽に目覚める。

平成5年 ディアマンテスでメジャーデビュー

平成10年 しゃかり結成

県内はもちろん県外や海外でも活躍中



北谷町出身で現在も北谷にお住まいのチアキさん。そのやさしく伸びやかな歌声で多くの人を魅了しています。そんな北谷の輝く女性、チアキさんにお話を伺いました。

掃除機がきっかけで音楽の道へ

— 謝苅出身ということですが、子どもの頃の様子をお聞かせください。

幼いころに両親が離婚し、母は家族を養ったために、県外に働きにいらしていました。そのため、中学生になる頃まで、祖母と一緒に過ごしていました。祖母は目が不自由でしたが、ほぼすべての家事をこなしていました。できないことは私を外に遊びにつれていけないことくらい。祖母のギターやサンシンであそんだり、即興で歌を作り自分で歌ったりして過ごす子どもでした。

その歌や私の声を祖母はカセットテープに録音して、私の成長を感じていたようです。年に一回帰ってくる母が、そのテープを聞いて、娘は歌が上手だ!とテレビのカラオケ番組に応募しました。そしたらなんと優勝。賞品の最新型掃除機を持ち帰ったら、祖母も母も大喜びしてくれて。それがきっかけで、音楽の道に進もうと思いました。



北谷町役場でのロビーコンサート
(令和7年12月18日)

中学生になると本格的に歌を学ぶため、毎日、北谷から那覇の音楽スクールへバスで通っていました。

北谷高校時代は、軽音楽部で活動し、全国コンテストで優勝したこともあります。高校卒業後にディアマンテスの一員としてデビュー。5年間活動したのち、ディアマンテス時代に結婚した夫(しゃかり上地一成さん)としゃかりを結成しました。

結婚を決めたときは、ディアマンテスが全国区になろうとしていた時期だったので、結婚を反対されたり「結婚しても(ディアマンテスを)辞めないように」と言われたこともありました。私は、「この人しかいない!」と夫と出会ったときから決めていたので(笑)、周りを気にせず23才で結婚しました。今年で結婚して31年、しゃかりでの活動は28年になります。

音楽のことではめっちゃめっちゃケンカします(笑)

「公私にわたって長年パートナーであるお二人ですが、家や仕事ではどのような関係性ですか。」

音楽について二人とも常に考えていて、ずっと音楽の話ができるという点はとてもいいところだと思います。家事は、お互いにできるときにできる方がやるという感じです。夫に食事作りなどの家事をしてほしいということは一度も言われたことはないですし、私も夫に対して、もっと家事をしてほしいと思ったり言ったりしたことはないです。

ただ、音楽のことになると、めっちゃめっちゃケンカします(笑)。曲のアレンジや歌詞のちよっとしたフレーズの違いで大ゲンカ。作業が止まることもありません。だいたい私が譲歩しますが、あくまでも妥協で



「北谷町の歌」CDの贈呈

幼い頃から好きだった町歌を新たにしゃかりがレコーディングし、しゃかりらしい町歌になっています

はなく歩み寄りです(笑)。そしたら夫もなんとなく歩み寄ってきてくれます。音楽でぶつかるからいいのかな、と思っています。

「音楽の世界では男性だからとか女性なの、といった性別による差別などはありますか。」

性別による差別はほとんどありません。ただ以前は、女性は結婚や出産をしたら活動を続けられないとか、女性のアーティストのステージ衣装は露出が多いとか、そういうことを聞いたりすることもありました。今は全然そんなことはないです。

「しゃかりの曲は「頑張らなくていいよ」「自分を大切に」など優しいメッセージや「ありがとう」という感謝を伝える曲が多いのですが、曲を作るときや歌っているときの想いを教えてください。」

音楽を続ける中でいい時も悪い時も経験しました。ディアマンテス時代は、全国区の音楽番組に出演するなど、とても楽しく華やかでしたが、しゃかりを結成した当初は、CDが売れなかったり、マスコミに

よく書かれなかったり、ディアマンテス時代に応援してくれていた人もだんだんと去っていったり。

その頃、私を大切に育ててくれた祖母ががんで行き、日に日に弱っていく姿をみて、毎日泣いていました。いよいよ祖母が起き上がれなくなり、呼吸するのも難しくなった頃、祖母の入院していた病院で口ビーコンサートをすることになりました。すると、起き上がれなかった祖母が、おめかしして車イスで口ビーまで来てくれました。コンサート最後の「唐船ドリー」では起き上がるのも難しかった祖母が、手踊りまでして喜んでくれました。その時に、「歌うということ、音楽を届けるといことは、こういうことだ!」と小学生の時、掃除機を勝ち取った時と同じくらいの衝撃を受けました。



代表曲「空の風」はNAHAマラソンのイメージソング
自身の曲が流れるNAHAマラソンにいつかチャレンジしたい!と話すチアキさん

歌というのは上手いとか下手とか、売れているとか売れていないとか関係なくて、「こういう瞬間をみたい」「こういう瞬間を創ってみたい」となんだな、と心から思いました。そこから歌を大切に、想いを込めて歌うということを改めて学びました。そのあとすぐに祖母は亡くなりましたが、その時の祖母の姿はいまだに忘れられません。祖母への感謝の気持ちを込めた曲も多いです。

歌うことは私のスフブン（沖縄の方言で使命、役割）

「歌を歌ったり、音楽を続ける中でやりがいを感じる瞬間は？」

音楽という、自分が必死になってやれることをみつけて、これまで続けてこられたことは、まず自分がえらい！と思っています（笑）。でも、それを支えて応援してくれる家族や友人や先生、ファンの方など、その方々へ感謝や恩返しのできる気持ちを込めて私も歌を頑張る、その歌を聴いて皆さんにも頑張ってもらえる、といういい相乗効果になっていけばいいな、と思っています。私が歌うことは、私の大好きな沖縄の言葉でいう「スフブン」（使命、役割）なのかな、と日々感じています。

私自身もこの先、歌うことの意味を死ぬまで追い求めるとし、私の歌を聴いてくれた人が何か感じたり、考えたり、頑張ろうと思ってくれたり、いい方向に発展していつてもらえたら、私もまた、「よし頑張ろう！」と思える。その繰り返しだと思っています。



3月15日(日) 北谷町立博物館にて

チアキさんの歌に合わせて、手作りの楽器を演奏して遊ぶ親子イベントを開催予定!
(小学生以上、定員あり)

お問い合わせ・お申込み (申込開始 3/3(火))
北谷町立博物館 TEL:098-923-0300

「最後に北谷町のみなさんにメッセージをお願いします。」

北谷町はまちも人もとにかく優しい。性別や年代に関係なく皆さん優しく思いやりにあふれていて、大好きです。そして、明るい。パワフルな明るさではなく、穏やかでちょうどいい明るさ。そういう町でずっといてほしいし、私自身、そういう優しいまち、北谷に生まれたことを誇りに思っています。

「ありがとうございます。」

「インタビュウ中、終始明るい笑い声を響かせていたチアキさん。チアキさん自身も視力が次第に低下していく病だが、少しでも病の進行を遅らせるような最先端の治療に積極的にチャレンジしているとのこと。「視力が落ちて、できなくなることが増えても、決してあきらめることなく、できることをたくさんさがしていきたい」と力強く話す姿が印象的でした。」



令和7年11月26日 開催

「知っておきたい国際結婚・離婚に関するいろは」

外務省ハーフ条約室による講座「知っておきたい国際結婚・離婚に関するいろは」を開催しました。支援者や関心のある方など25名が参加し、日本人同士の結婚や離婚との違いや子どもが受ける影響について、法律、ハーフ条約、児童心理の3つの視点から理解を深めました。

琉球大学法科大学院の武田昌則教授は、国際結婚や離婚について、自国の制度が海外で通用しない可能性を指摘し、多くの国では協議離婚ではなく裁判離婚のみが認められていることなどを説明しました。

外務省ハーフ条約室の江端康行室長は、一方の親による子の連れ去りを巡る国際紛争を解決するハーフ条約は、子を元の居住国に返還する手続きであり、連れ去った親から連れ去られた親に子どもを引き渡す条約ではない」と強調していました。

公認心理師の藤澤玲子さんは、離婚や別居が子どもの心理に与える影響と心の回復について話し、子どもに「あなたのせいではない」と伝えることや、発達段階に応じた説明、面会交流のルール作りの重要性を訴えました。

参加者からは「日本と外国では結婚、離婚がだいぶ違うと知った。両親の関係が子に与える影響について深く考えられた。」という感想がありました。



琉球大学の法科大学院教授の武田昌則さん



外務省ハーフ条約室長の江端康行さん



公認心理師の藤澤玲子さん

令和7年12月 開催 沖縄コンベンションセンター

トータルビューティー&生活支援等相談会(沖縄県つながりサポート支援事業)

女性の生活上の不安を気軽に相談できる支援機関へとつなぐ機会の創出を目的として「トータルビューティー&生活支援等相談会」が開催されました。

同イベントは美容や整体、スピリチュアル等のブースを体験しながら、様々な相談窓口を知ってもらう内容となっていて、北谷町も相談ブースを設置しました。期間中約1,700名という多くの女性が来場。

イベントを開催している「(一社)女性を元気にする会」代表理事のゴージャス理枝さんは「気軽に来場しやすい雰囲気づくりを心がけている。悩みを抱える女性はたくさんいると思う。相談する場所や、受けられる支援があるという情報をキャッチしてほしい」と話していました。



「(一社)女性を元気にする会」代表理事
ゴージャス理枝さん



令和7年12月17日 開催

弁護士による 女性法律相談・男性法律相談・性の多様性に関する相談会

琉球大学法科大学院の協力による「弁護士による女性法律相談・男性法律相談・性の多様性に関する相談会」を開催しました。当日は、弁護士だけでなく、ロースクールの教員や学生も相談に入り、法律に基づいた考え方やアドバイス等を相談者に伝えました。

今回は仕事帰り等に相談しやすいように、夜間に開催。また、男性からの相談も対応しました。相談者からは「丁寧で確かなアドバイスをもらった。早速実行してみたい」「相談前は不安だったが、学生の皆さんがいることでリラックスして相談できた」との声がありました。



相談対応した琉球大学法科大学院の齋藤実教授(弁護士(前列右)、同矢野恵美教授(前列左)と学生の皆さん

DV・その他相談窓口 ~一人で悩まずご相談ください~

緊急時は110番へ

沖縄県配偶者暴力相談支援センター(女性相談所)

☎098-854-1172

月~金 8:30~17:15 土日・祝日 8:30~16:30

中部配偶者暴力相談支援センター(中部福祉事務所)

☎098-989-6603

月~金(祝日除く) 8:30~17:15

沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センター
(with you おきなわ)

#8891 又は 098-975-0166

北谷町 女性相談 男性相談
LGBTQ相談

DV・夫婦関係・自身の生き方・子育て・仕事・家庭生活・人間関係に関すること等

相談員直通

080-6489-6980

月・水・木(祝日除く) 9:00~17:00

ハーモニー73号はいかがでしたか?皆さまのご感想、ご意見、男女共同参画に関する情報等をぜひお寄せください。お待ちしております!

編集・発行/北谷町 町長室 秘書広報係 ☎098-936-1234 (内線1110)



編集・発行/北谷町役場町長室 沖縄県中頭郡北谷町桑江一丁目1番1号 ☎098-936-1234
2026年3月1日発行 印刷/株式会社近代美術 ☎098-889-4113

この印刷物は、個人
情報保護法第23条第
1項第2号に基づき、
印刷していません。